

令和5年度 学校評価報告書（総括書）

あま市立美和小学校

1 総括

（1）教育目標（学校経営案より）

心身ともに健やかで、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図るとともに、心豊かな人間形成と自己実現を目指し、国際社会に貢献する児童の育成を図る。

（2）本年度の重点努力目標

- 目指す子どもの姿を明確にし、具体的な方策を用い、子どもたちに「生きる力」を身に付けさせ、働きがいのある魅力的な学校づくりを目指す。

＜目指す児童像＞

ア. 「力いっぱい」考える子 … 自ら考え追究する力や自ら学ぶ姿勢を身に付け、自己実現に努める態度を養う。

- ・ 気付き・考え・行動できる子
- ・ 目標をもって、自分から探求活動をしようとする子
- ・ 見つけた課題を自分事として考えることができる子
- ・ 新たな発見・出会いを喜び、積極的に関わろうとする子
- ・ 友達と協働的に考え合える子

イ. 「笑顔いっぱい」思いやりのある子 … 礼節を重んじ、豊かな人間関係づくりに努める態度を養う。

- ・ 礼儀正しくその場に応じた行動ができる子
- ・ 人の気持ちを考えて、優しい気持ちで接しようとする子
- ・ 自分から・進んで・元気よく挨拶ができる子
- ・ 学級や学年をこえて、誰とでも分け隔てなく関わることができる子
- ・ 他学年にとってよりよい学校生活にするために行動できる子

ウ. 「元気いっぱい」がんばる子 … 命を尊び、心や体を鍛え、たくましく生きぬく力を養う。

- ・ 安全意識をもって、けがのないように行動しようとする子
- ・ 元気に登校し、生き生きとした学校生活が送れる子
- ・ 前向きな気持ちで一日楽しく過ごそうとする子
- ・ 屋外で元気いっぱい遊べる子
- ・ 困難に立ち向かい、解決しようと努力することができる子
- ・ 規則正しい生活習慣を送れる子
- ・ 目標を達成するために、さまざまな方策をもち、計画的に行動できる子

＜働き方改革にかかる業務改善に向けて＞

- ・ 時間を意識した業務活動（部分休業・育児短時間勤務者が気持ちよく働ける職場づくり）
- ・ 朝の打ち合わせなし、校務支援システム「掲示板」の有効活用で連絡を周知
- ・ 会議時間の短縮・精選
- ・ 学校行事のスリム化
- ・ 校務分掌の正・副担当者
- ・ 書類作成の見直し
- ・ 集金業務の改革
- ・ 給料日を定時退校日と設定

2 自己評価の実施体制

- (1) 調査期間 令和5年12月 8日(金)～12月18日(月)
- (2) 調査項目 別紙アンケート参照
- (3) 調査対象 有効回答者数/対象者数

※ グーグルフォームズを用いたタブレット、スマートフォン等で行うアンケートを実施

- ・児童 315名/324名 ・教職員 28名/28名
- ・保護者 236名/257名

3 調査結果【資料として添付】

別紙アンケート結果参照

4 考 察

(1) 児童の評価

- ・ 「学校生活が楽しい」と回答する児童の割合が9割を越えていることから、学校生活に満足している児童が多いと考える。
- ・ 「先生は、基礎・基本を押さえた分かりやすい授業を工夫している」と「自分から進んで、授業や勉強に取り組んでいる」の2項目が昨年度の結果より高まり、教材研究により授業の分かりやすさと、主体的に学習に向き合う結果の相乗効果が理解度向上の結果として見られる。
- ・ 「自分には、友達がいる」の項目で肯定的な評価の割合がとても高い。学校に居場所があり、良好な友人関係を築いていることがうかがえる。
- ・ 「いつも元気のよいあいさつをしている」の項目では、肯定的な回答が10%ほど増えている。本年度の課題として取り組んだ成果が見られる。
- ・ 「私は、交通安全に心がけて、登下校している」の項目で肯定的な評価の割合が高い。通学班で協力し合い、命を守ろうと心がけていることが分かる。

(2) 教職員の評価

- ・ 22項目中、15項目において80%以上の肯定的な回答が見られ、教育活動が子どもたちの成長につながっていると考えている。
- ・ 「本年度の指導方針は、学校経営グランドデザイン等の取組により、教育成果が上がっている」の項目では、90%以上の職員が肯定的な回答をしている。美和小学校グランドデザインに職員の意見を取り入れているため、全職員で教育活動を行おうとする姿勢が結果として現れている。また、「子どもたちは、学校での学習や生活を通して、成長していると思う」の項目でも肯定的な回答が多く、実践した結果も実感していることが分かる。
- ・ 「自分は、基礎・基本を押さえた分かりやすい授業を工夫している」の項目で90%以上の肯定的な回答が見られた。学習と評価の一体化を目指し取り組んできた研究成果が現れている。
- ・ 「自分は、電話での問い合わせや保護者の来校時に親切に対応している」の肯定的な回答が高く、保護者、地域の方、外部講師など、多くの大人の力で子どもたちを育てていこうとする姿勢が見られる。
- ・ 「美和小学校は、保護者・地域と連携し、子どもたちを育てていると思う」の項目で肯定的な回答が100%となった。保護者、地域の方が登下校の見守りや学校環境づくりに協力してくださったり、出前授業を行ってくださったりしていることを実感していることが分かる。

(3) 保護者の評価

- ・ 「先生は、基礎・基本を押さえた分かりやすい授業を工夫している」に肯定的な回答の割合が高くなった。授業参観等での学習の様子が伝わったと言える。
- ・ 「先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している」「先生は、電話での問い合わせや学校を訪問した時に親切に対応している」「学校での学習や生活を通して、お子さんが成長している」「学校は、

学校の様子を各種たよりやホームページでよく伝えている」の4つの項目で、肯定的な評価が高まった。多くの保護者より信頼を得ながら、教育活動を行うことができていると言える。

- ・ 「学校は、保護者、地域と連携して子どもを育てることに努めている」への肯定的な評価の割合が高まった。PTAボランティア活動の充実、地域の方による出前授業を行った成果と言える。
- ・ 「学校の施設・設備を清潔で安全に保つ配慮がなされている」への肯定的な評価の割合が低いままである。今年度、来賓玄関の施錠やインターホン設置を行ったが、門や昇降口は施錠していないため、まだまだ自由に入れる環境であることが影響していると考ええる。

5 成果と課題

《成果》

- (1) 昨年度に引き続き、アンケートを教師と児童はタブレット端末、保護者はインターネットで回答できるようにした。90%以上の保護者が回答をしてくださっている。
- (2) 「先生は、基礎・基本を押さえた分かりやすい授業を工夫している」「先生は、電話での問い合わせや学校を訪問した時に親切に対応している」「先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している」「学校は、保護者・地域と連携して、子どもを育てることに努めている」「学校は、学校の様子を各種たよりやホームページでよく伝えている」の項目について、児童・保護者・教師ともに肯定的な評価が高い。児童の成長する姿から、教育活動が充実していると三者が同様に感じていることが分かる。
- (3) 本年度の課題であった、「お子さんは、いつも明るく、元気のよい挨拶ができている」の項目において、児童は10%肯定的な評価の割合が高まった。教師の重点的に指導しようとする姿勢、地域への協力依頼が子どもたちの実感につながったと言える。

《課題》

- (1) 「お子さんは、進んで読書活動に取り組んでいる」の評価が児童・教師ともに低い。
- (2) 「学校は、危険個所や不審者対応への配慮がなされ、安全である」への肯定的な評価の割合が低い。
- (3) 「お子さんは、宿題などの家庭学習に計画的に取り組んでいる」の項目における肯定的な回答が低い。家庭でも主体的に学習を行う習慣を養う必要がある。

6 改善策

- (1) 図書室の蔵書や環境整備を行い、今後も読書活動の環境づくりに努めていきたい。インターネットで物事を知ることが多い世の中ではあるが、絵本や小説ならではのよさを伝えられるよう、PTA読み聞かせボランティアや美和図書館と連携していきたい。
- (2) 危険個所や不審者への対応、老朽化が進んでいる箇所の保守・点検と修繕を早急に進めていく必要がある。保護者や地域の協力を得ながら、環境整備を行っていくことも考えていきたい。
- (3) 「分かる」喜びだけではなく、学習したことについて興味をもち、より深く学習しようとする態度を育てていきたい。